

## 259回例会 柳川周辺のカヤランと近江神宮の森

〈開催日時〉 2017年5月3日(日)  
〈集合場所〉 近江神宮第一鳥居前 10:00  
〈参加者〉 小山会長以下 26名

今回は、はじめてゴールデンウィークの真ん中の例会となりました。にもかかわらず、26名と多くの方の参加をいただきました。連休に入り暑い日が続いて、「カヤラン」が見られないのではないかと心配しましたが、頑張って待っていてくれました。散策した地域は、古墳時代から重層的に歴史が重なり、その遺跡の一つの「皇子山古墳」で昼食を摂りました。暑いぐらいの陽気のもと、楽しく観察できました。

【近江神宮境内】 以前に植物調査を行った頃に比べると、大きな木が伐採されていて、境内の乾燥化が進んでいる。過去の調査ラベルが残っている アラクシ タラヨウの花 マテバシイの新芽



ナギ 神社に多い熊野神社では御神木



ウメガシの新葉



シラカシの樹皮



イチイガシ



アセビの新葉



エノキの幼木



ヒメスミレ



ツボスミレ(ニョイスミレ)



トウバナ



ムラサキゲマン



ヒメワズ



シラスゲ



ベニシダ



クマワラビの葉表



クマワラビの葉裏 胞子が先の方のみ



ウラシマソウ



キラソウ



ヨツバムグラ



ヒヨドリジョウゴ



キゴケ 地衣類



チヂミカヤゴケ (雌)



イヌビワ



アラカシ



ノキシノブ



【柳川沿いの民家】 今例会の目玉「カヤラン」。戦前からの庭は、古い庭木から野菜畑まで多様な植物の宝庫でした。

ウメの木に自然着床した カヤラン

同じ木に着床した セッコク



サラサドウダン



シャガ



キンカン



【皇子山古墳】 昔は、琵琶湖が一望でき、渚も近かった  
古墳への登り坂



ヒメハギ



古墳からの眺望



マルバアオダモ



コバノガマズミ



コナラ



キリ



ウラジロノキの葉表と裏



アベマキの樹皮



タブノキの芽生えと花



桜は散りましたが、次々と草木が芽生え、山は新緑が美しい季節です。近江神宮の植生環境の変化は激しかったですが会員の皆様に企画の「カラヤン」をご覧頂く事が出来て何よりでした。

村山和夫